

2025 年 10 月 28 日
一般社団法人 J ミルク

2025 年度(4回目)Jミルク事業に関する事業協力者の募集について

一般社団法人 J ミルクは、独立行政法人農畜産業振興機構が実施する「令和 7 年度国産牛乳乳製品の需要拡大等事業」の一部事業を活用し、国内におけるヨーグルト(発酵乳規格)の消費拡大に向けた取り組みを実施します。ついては、当該事業を実施にあたり、事業協力者を募集いたします。本事業への協力をご希望される方は、下記の要領にてご応募ください。

記

1. 趣旨

日本の酪農乳業は、脱脂粉乳とバターの需要の不均衡により脱脂粉乳の需給緩和状況が続いており、生乳需給の改善に向けた環境整備及び国産乳製品等の需要確保が急務となっています。このため、一般社団法人 J ミルクは、脱脂粉乳等(脱脂濃縮乳を含む無脂乳固形分)の需要確保を図るべく、脱脂粉乳等の最大の需要先であるヨーグルトの消費拡大を図る取り組みを実施します。

※令和 7 年度上期まで一般社団法人日本乳業協会が事業主体として取り組んできた「ヨーグルト消費拡大対策事業」を引き継ぎ、今後は一般社団法人 J ミルクが事業主体となって取り組んでまいります。

2. 対象事業

別紙 1 「2025 年度(4回目)J ミルク事業における事業協力者関連事業」の通りとします。

3. 応募資格

本事業を実施する経験および能力を有し、業務および経理等に関して適切かつ効率的な管理体制を有すること。

4. 応募手続き

- ・募集期間:2025 年 10 月 28 日(火)～2025 年 11 月 11 日(火)15 時まで
- ・応募方法等:別紙 2 「2025 年度(4回目)J ミルク事業における事業協力者関連事業に関する参加表明書」と、事業に関する企画提案書(以下「企画提案書」という。)1 部を添付し、募集期間内に「応募・照会等窓口」へ電子メールにてご提出ください。
- ・その他:応募に係る費用は一切支給いたしません。

5. 企画提案書

企画提案書には、以下の項目を記載してください。

書類の様式は問いませんが、A4 版 15 頁以内(表紙、会社概要、見積書、関連事業の実績、その他参考となる資料は含まず)にまとめてください。

なお、応募に際し、「事業No.1またはNo.2のみ」または「事業No.1及びNo.2双方」への応募が可能です。

企画提案書は別紙の事業区分を明確にして作成してください。複数の事業に応募する場合は、会社概要等重複する内容については省略可能です。

①実施計画、実施方法および実施体制:事業ごとの実施計画、内容、スケジュールを記述してください。また、社内の実施体制、責任者、必要に応じて主要なクリエイターおよびライター、パートナー会社等を明確にしてください。

②事業に必要な経費およびその積算内訳(見積書・消費税込):企画費、管理費等については、その合理的根拠(例:企画および管理に必要な作業量やその単価等)を明確にしてください。

③関連事業の実績:事業ごとに類似する実績があれば記載してください。

④その他参考となる資料。

提出された企画提案書は、以下の通り取り扱います。

- ・企画提案書は返却いたしません。
- ・企画提案書は、採点等、本事業にかかる事務手続き以外の目的に使用いたしません。

6. 事業協力者の選定等

・事業協力者の選定は、企画提案書を元に参加者自らのご説明(質疑応答を含む1社あたり持ち時間45分のプレゼンテーション)により、審査させていただきます。

ご説明いただく日時は、事務局にて2025年11月13日(木)～2025年11月14日(金)の間で設定します。

・選定結果は 2025 年 11 月 19日(水)までにすべての参加者に通知いたします。

・選定基準は、①企画内容、②価格の順に選定いたします。

7. 事業実施等

事業実施内容は、企画提案内容を両者で協議のうえ決定いたします。実施期間は、契約締結日から 2026 年 3 月末日までといたします。

8. 応募・照会等窓口

本事業の詳細に関するお問い合わせは、下記宛てにお願いいたします。

応募書類は、担当者 2 名へ電子メールにてご提出ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 御茶ノ水安田ビル 5 階
TEL:03-5577-7494

一般社団法人 J ミルク コミュニケーショングループ

林 雅典(m-hayashi@j-milk.jp)

金山 純一郎(j-kanayama@j-milk.jp)

以上

2025年度J ミルク事業における事業協力者関連事業(4回目)

事業 No	実施項目	事業目的	実施内容	実施期間	主なターゲット	訴求する主な 価値	企画・応募にあたっての留意点	予算の上限 (千円・税込)
1	国産脱脂粉乳の過剰在庫対策として、脱脂粉乳等(脱脂濃縮乳を含む無脂乳固形分)の最大の需要先であるヨーグルトの消費拡大にむけた各種プロモーション推進事業 (25年下期における短期事業戦略の立案と実行)	国内の酪農乳業界における、脱脂粉乳とバターの需要不均衡の継続により、国産脱脂粉乳の需給緩和状況が継続しており、生乳需給の改善に向けた環境整備及び国産乳製品等の需要確保が急務となっている。 このため、「牛乳でスマイルプロジェクト」の下での業界一体となった取り組みとして、本事業の実施により、ヨーグルトの消費拡大に取り組み、国産脱脂粉乳の在庫低減を図る。	(1)各種メディア等を通じた、ヨーグルトの価値理解深耕並びに購買を喚起する情報の発信 ①ヨーグルトのもつ健康価値を基盤に、人々の健康づくりに役立つ食品としての位置づけを高める情報について、各種メディアを通じ総合的に情報発信をおこなう。 注)ヨーグルトの健康価値を訴求する場合は、科学的根拠に基づくものであること。 ②SNSやデジタルメディアを有効に活用し、ターゲットに応じた最適なコミュニケーションプランを検討し、世の中に情報を拡散させ、購買行動につなげる。 (2)消費者との最大接点である「店頭」におけるコミュニケーション施策及び購買意欲喚起策の立案・実行 ①乳製品としてのヨーグルトの魅力度を更に向上させ、購買意欲の喚起につながるポイントを明確にした戦略を立案する。 ・消費拡大余地、社会性・時事性を加味した企画を立案。 ・令和6年度よりスタートしたヨーグルト消費拡大対策事業「私らしくヨーグルト新発見」プロジェクトの基本コンセプトを理解・踏襲しながらも、更にその取り組みを発展させる戦略を立案する。 ・25年度下期重点施策として、需要の谷間となる26年1月以降に展開する企画を盛り込む。	契約日～ 26年3月末日	酪農乳業関係者、消費者	ヨーグルトの価値理解(素材・栄養・健康機能など)深耕と購買促進	・事業No.1における各種企画は、すべて25年度下期内に実施及び完了する内容とすること。 ・企画提案にあたり、補助金適正使用の観点から、キャッシュバックCP等の「消費者に直接金銭が還元される施策」並びに「各種CM・イベントへのタレント出演費」など、一部「補助対象外」となる項目があるため、提案の際は、「当該項目を含まない」内容とすること。 ・制作物(特に動画)に関する著作権はJミルクに帰属するものとし、関係団体等による広報・普及目的の二次利用が想定されるため、これを妨げないよう権利処理等に配慮すること。	250,000

事業 No	実施項目	事業目的	実施内容	実施期間	主なターゲット	訴求する主な 価値	企画・応募にあたっての留意点	予算の上限 (千円・税込)
2	中長期を視野に入れた、持続性のあるヨーグルトの消費拡大にむけた各種プロモーション企画の立案事業 (26年度またはそれ以降も視野に入れた中長期事業戦略の立案)	【事業No.1】と同様に、「牛乳でスマイルプロジェクト」の下でのヨーグルトの消費拡大による脱脂粉乳の在庫低減への取り組みは、今後も継続的に取り組む必要があるため、【事業No.1】の短期事業戦略の展開と並行し、26年度またはそれ以降の施策実行を視野に入れた、持続性のある中長期事業戦略構築に取り組む。	(1)戦略パートナーと共同した中長期事業戦略の立案 ①事業パートナーの選定 ・Jミルク会員メーカーのマーケティング担当者と共に、より専門性の高い議論を行うべく、幅広い業界知識やノウハウを有する「事業パートナー」を募集し、当該パートナーと共に事業戦略の検討を行う。 ②環境分析・事業戦略の立案 ・消費者心理の理解を深め、消費者の潜在意識と購買行動の因果関係を明確にし、消費者選択時において、他の食品カテゴリーよりもヨーグルトが第一想起される確率を高める点に焦点を当てた戦略を立案する。 ・夏(6-9月)と冬(12-3月)それぞれで、ヨーグルトの価値に焦点を当てた戦略テーマとターゲットを提案に織り込む。 ・実購買につながる取組みを最優先に、消費者との最大接点である流通・小売及び外食・中食との連携プランを盛り込む。 ・施策展開時に効果が最大限発揮されるよう、十分な準備期間と余裕をもったスケジュールリングのもと検討を行う。	契約日～ 26年3月末日	酪農乳業関係者、消費者	ヨーグルトの価値理解(素材・栄養・健康機能など)深耕と購買促進	企画提案にあたり、補助金適正使用の観点から、キャッシュバックCP等の消費者に直接金銭が還元される施策並びに各種CM・イベントへのタレント出演費など、一部「補助対象外」となる項目があるため、提案の際は、「当該項目を含まない」内容とすること。 ・制作物(特に動画)を計画する場合、その著作権はJミルクに帰属するものとし、関係団体等による広報・普及目的の二次利用が想定されるため、これを妨げないよう権利処理等に配慮すること。 ・次年度以降の施策展開に向けて、今年度の検討結果・成果等を次年度以降の事業実施者等に引き継ぐことが想定されるため、これを妨げないよう配慮すること。	50,000

一般社団法人J ミルク 専務理事 殿

住所
商号または名称
代表者氏名

2025年度(4回目)J ミルク事業における事業協力者関連事業に関する参加表明書

標記、事業に係る企画提案書を下記の通り提出します。
記

応募事業 応募する事業に○を記入。

応募事業 (○を記入)	No	実施項目
	1	国産脱脂粉乳の過剰在庫対策として、脱脂粉乳等(脱脂濃縮乳を含む無脂乳固形分)の最大の需要先であるヨーグルトの消費拡大にむけた各種プロモーション展開事業(25年下期における短期事業戦略の立案と実行)
	2	中長期を視野に入れた持続性のあるヨーグルトの消費拡大にむけた各種プロモーション企画の立案事業(26年度またはそれ以降も視野に入れた中長期事業戦略の立案)

添付書類:企画提案書 1 部

【連絡先・担当者】

氏名(ふりがな)	
所属・役職	
電話番号	
E-mail	



- ・25年度上期は、24年度取組からの継続として、プロジェクト認知拡大・購買促進を目的としたプロモーションを展開
- ・「夏の猛暑」というモーメント・社会課題を捉え、ヨーグルトが持つ「水分保持機能」という健康価値と掛け合わせ、【夏の猛暑に、ヨーグルト。ヨーグルトには、体の水分を保持する力がある。】という統一メッセージのもと、各種プロモーションを実施。

